

安芸地域アクションプランの進捗状況等について

H21. 9

地域本部名 安芸地域

1. 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

- ・全項目について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を実施。
- ・全体としては、実施計画どおり進捗している。
- ・事業主体・事業内容を追加するもの（5件）

No.9 「上土佐（かみとさ）備長炭販売促進事業」、事業主体を2市町それぞれの組織とし、窯等の整備を追加

No.1 4 「低価格な定置網漁獲物の販売戦略」、水産加工業者を追加し、加工品製造販売を追加

No.3 4 「龍馬伝を活かした観光振興」（北川村）、中岡慎太郎館のリニューアルを追加 他2件

- ・ランクアップするもの（2件）

No.1 4 「低価格な定置網漁獲物の販売戦略」、 C → B

No.3 4 「龍馬伝を活かした観光振興」（北川村） B → A

・概要

- ・No.5 「土佐ジローの生産拡大」に関する項目については、鶏舎の設計の精査とともに地元調整に慎重を期している。
- ・No.1 2 「キンメダイのブランド化に向けた取組」、No.1 3 「スジアオノリのブランド化の取組」、No.1 6 「加領郷ブランドによる地域の活性化」については、着実な実行に向けた支援を行っているものの、産業振興総合補助金の審査の状況から、水産総合補助金の導入にシフトしている。
- ・No.2 「ユズを中心とした中山間地域の農業振興」については、北川村ユズ搾汁施設の高度化が計画どおり進んでおり、本年度から新たな施設での搾汁を開始予定。
- No. 2 2 「体験型観光の旅行商品化と販売・受入体制の整備」については、プロモーションビデオの撮影に着手。No.2 3 「地質資源を活かした交流人口の増加（世界ジオパーク認証に向けた取組）」については、地元の室戸ジオパーク推進協議会により、世界ジオパークに向けた申請が行われている。No. 2 6 「龍馬伝に関連した特産品開発や周遊ルートの確立等」については、安芸市内の事業者等から公募により6件を採択し特産品開発に取り組んでいるほか、周遊ルートについては、No. 2 2 の取り組みの中でも広域でのルートを策定中。No.2 9 「魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大」については、中芸5ヶ町村の各地域において、ガイド研修を積極的に行うなど、実施主体の動きが活発化している。
- ・また、No.3 4 「龍馬伝を活かした観光振興」（北川村）については、中岡慎太郎館を核とした観光振興と地域産品販売拡大への取組が8月に産業振興補助金の審査を受け、採択された。

(2) 補助金及びアドバイザーの導入状況

地域アクションプランの項目名	補助金	アドバイザー
2 ユズを中心とした中山間地域の農業振興	総・国	
4 西山きんとき芋販売促進事業		ア
11 林業加工品の販売促進	総	
15 新たな漁業の導入と振興とシラス魚価等の向上		ア
22 体験型観光の旅行商品化と販売・受入体制の整備	総	
23 地質資源を活かした交流人口の増加（世界ジオパークに向けた取組）	総	
24 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大	総	
26 龍馬伝に関連した特産品開発や周遊ルートの確立等	地	
29 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大	総	
32 安田川の清流資源を活かした交流人口の拡大	地	
33 古民家と地場産品販売施設等を活かした交流人口の拡大	総	

※補助金 : (総) 県総合補助金、(地) 県地域づくり補助金、(県) その他県単補助金等、
(国) 国庫補助金等、(セ) 産振センター補助金等

アドバイザー: (ア) 産業振興アドバイザー、(工) エ技センターアドバイザー、(他) その他アドバイザー

2 地域アクションプランへの追加（予定）項目等

(1) 21年度の修正項目(案)

資料 参照

(2) 21年度の追加項目

現時点、該当なし。

(3) 22年度の追加に向けての検討項目(案)

現時点 該当なし。

3 今後の重点的な取り組み

- ・進捗状況の遅れている項目について、実行支援チーム会を中心に、核となる団体などと積極的に意見交換、協議を行い、引き続き、課題への対応と関係者の合意形成に努める。
- ・産業振興アドバイザーを積極的に活用し、取り組みの熟度を高める。
- ・県総合補助金等を導入したプランについては、引き続き、事業実施スケジュールに沿った円滑な事業実施が行われるよう、支援、進捗管理を行う。
- ・地域資源共有活用会議の進捗状況に応じた支援を行い、地域資源の活用を促す。
- ・住民の産業振興計画への理解と参画意識を高めるため、各種団体の会合を通じて、地域アクションプランの取り組みの紹介を行う。